

平成 29 年度

日本臨床内科医会
医療・介護保険委員会への要望事項

平成 29 年度日本臨床内科医会医療・介護保険委員会への要望事項

◇提案事項

- | | |
|--------------------------------|-------|
| (1) 内視鏡検査時の前投薬 (sedation) について | (宮崎県) |
| (2) 在宅医療に関わる文書作成の煩雑さについて | (福岡県) |

提 案 事 項

(1) 内視鏡検査時の前投薬 (sedation) について (宮崎県)

《提案要旨》

内視鏡検査（胃、大腸）時の前投薬で一般的にセルシン、ロヒプノールなどが使用されていますが、それぞれ半減期が 24 時間、7 時間ほどと長いと思います。そのため、より半減期の短い保険適応外の前投薬（ミダゾラム 約 4 時間、プロポフォール 6 分～ 10 分）の使用は保険で認めていただきたい。

各県からの回答

【鹿児島県】	<p>ミタゾラムについては社保・国保とも上部・下部消化管検査のいずれにおいても認めています。</p> <p>プロポフォールについては、内視鏡検査では社保・国保とも算定不可。</p> <p>長時間にわたる内視鏡的手術においては、麻酔科医の立会いのもと認めています。</p> <p>内視鏡診療における鎮静に関するガイドライン（日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会雑誌 55:3822-3847 2013）では上部消化管検査、大腸内視鏡検査とも、プロポフォールによる鎮静が記載されている。結論として、使用上の条件が明記されているプロポフォールで鎮静を行う場合、各施設のルールに則って安全に使用することが求められるとなっています。</p>
【佐賀県】	<p>貴見の通り。</p>
【宮崎県】	<p>提案県</p>
【沖縄県】	<p>貴県の通りです。</p>
【大分県】	<p>当県ではミダゾラムについては内視鏡検査時の鎮静として認めている。プロポフォールに関しては認めていない。どのあたりで線を引くかは難しいところであるが各県のご意見も伺いたい。</p>
【長崎県】	<p>貴県の提案に賛同します。</p>
【熊本県】	<p>熊本県ではミタゾラムの使用は認めております。</p>
【福岡県】	<p>プロポフォールは、社保も国保も認めている。ミダゾラムについては、国保は認めないが社保は認めている。</p>

提 案 事 項

(2) 在宅医療に関わる文書作成の煩雑さについて（福岡県）

《提案要旨》

在宅医療は地域包括ケアシステムの柱の一つであり、今後さらなる拡充が必要な分野である。しかしながら、診療所の在宅医療への参入はまだまだ十分とは言えず、福岡市では在宅支援診療所の届け出数が減少したとの話も聞く。診療所の在宅医療参入の障壁となっている問題には様々なものがあるが、その手続きや書類作成の煩雑さが大きな要因を占めることは疑う余地がない。マンパワーの不足している診療所にとって、その負担は非常に大きいと言わざるを得ない。手続きや文書作成の簡素化を強く要望する。

各県からの回答

【鹿児島県】	貴県のとおり
【佐賀県】	貴見の通り。
【宮崎県】	貴県の意見に賛成します。
【沖縄県】	貴県の通りです。
【大分県】	貴見の通りと考える。同意書などについてはひな形を共通化し、市民にも書類の意味をきちんと理解していただけるように保険者からも啓発が必要ではないかと考える。医師会や医会で共通フォーマットを作ることも検討していただきたい。
【長崎県】	貴県の提案に賛同します。
【熊本県】	貴県の意見の通りです。
【福岡県】	提案県